

「社協」は、みなさんの参加とささえあいで、地域福祉をすすめる福祉団体です。

ホームページアドレス
http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo



よこすか



社協だより

since 1951

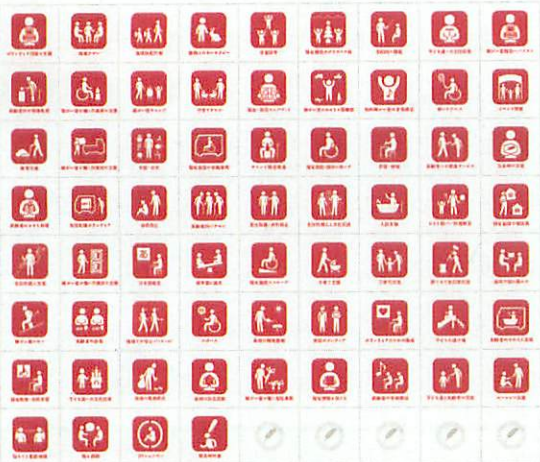
YOKOSUKA

編集・発行 季刊

社会福祉法人
横須賀市
社会福祉協議会
〒238-0041
横須賀市本町2-1
TEL. 046-824-3435
046-821-1301
FAX. 046-827-0264

平成21年
10月
No.121

じぶんの町を 良くするしくみ。



赤い羽根共同募金

10月1日(木)～12月31日(木)



みんなであつなく
たすけあい

共同募金にご協力をお願いします!
10月1日+12月31日
赤い羽根共同募金 横浜F・マリノスは赤い羽根共同募金を応援します。

全国版

横須賀市・横浜市・大和市



みんな地域のサポーター

川崎フロンターレ
赤い羽根共同募金を応援します

共同募金にご協力をお願いします! 10月1日+12月31日

川崎市

地元スポーツチームも応援してくれています!

～10月1日から 赤い羽根共同募金が始まります。～

平成21年度は、横須賀市をホームタウンとするJリーグプロサッカークラブ横浜F・マリノス協力の共同募金ポスターが市内に掲示されます。

川崎では同じくJリーグ川崎フロンターレが、全面的に協力しています。

またプロ野球チームでも、横浜ベイスターズが、10月3日(土)・4日(日)に横浜スタジアムで行われるホームゲームで、赤い羽根のシールをつけて試合を行うなどの協力をします。

是非、今年も市民のみなさんのご協力をお願いいたします。
(5面にも赤い羽根共同募金の記事があります)

アップ
～地域の力をさらにUP!～

必見!

“小さな工夫 大きな一歩”④

上町第二地区の鶴が丘では、民生委員等の呼びかけで子育てサロン「鶴が丘びよびよクラブ」が6月から始まりました。地区社協のサロンに参加している鶴が丘のお母さんたちの「参加できない月があると次の月まで待ちきれない」「町内なら近くて便利」などの声に応え、月1回町内会館で10組余りの親子が布おもちゃや笹飾り作りを楽しみました。



8月のプログラムは夜店ごっこ。幼稚園が夏休みのお兄さん・お姉さん、初参加の親子も加わって、40人余りの子どもとお母さん、スタッフ約10人で始

まりました。かき氷や綿菓子など7つのお店で「金魚釣り100円」などと書かれた手作りのおもちゃのお金を使い、小さな子どもも楽しく買い物物ができました。

びよびよクラブは、準備や運営にお母さんたちも積極的に参加し



ています。携帯メールとお母さんの輪を駆使した連絡のやりとり、安くてかわいい材料やアレルギー等の心配がないお菓子の調達など、豊富なアイデアとフットワークの良さを発揮しています。そのため「スタッフは見守るだけ」と民生委員は話します。

お子さん2人と毎回参加しているお母さんは「町内の夏祭りに行かれなかったので、夜店ごっこは何日も前から楽しみにしていました。鶴が丘は子どもたちを温かく見守ってくれる人が多いので、住んで良かったと思っています」と笑顔で話してくれました。民生委員も「一人ではできません。お母さんたち、(社会福祉推進委員や青少年育成推進員などの)スタッフ…みんなが力を合わせて、見守ってくれる方々もいるからこそ楽しくやれると思っています」と話しながら、集まった一人ひとりに声を掛けていました。

子育てサロンとは?

親子が気軽に足を運べて、同じ子育て中の方とおしゃべりすることで、子育ての楽しさ、不安や悩みを分かちあうことのできる「仲間づくりの場」です。また、子育て中の親子だけでなく、子育てがひと段落した人などいろいろな年代の人たちが集まることのできる場であることもサロンの特徴です。活動内容は、お子さんは自由に遊び、お母さん方もおしゃべりを楽しみながらのんびりと過ごしたり、子育てに関する講習会を開くなどサロンごとに異なります。

災害による犠牲者ゼロを目指して シリーズ2

～地域での防災訓練・研修会に役立つヒント集～

近年、防災への関心が高まり、町内会・自治会や企業などで防災訓練・研修会が活発に行われています。災害発生時には住民や職員同士の助け合いが大きな力になりますが、地域や職場の中には周囲の理解やお手伝いが必要な方もいます。

現在、横須賀ではさまざまな機関・団体が災害発生時に「協力してほしいこと」を想定して、防災訓練・研修会に活用できる取り組みを行なっています。さっそく次の訓練・研修会に取り入れてみませんか。

① 横須賀災害ボランティアネットワークの取り組み

地震などの災害時に、全国から集まるボランティア活動を行いたい希望者と、ボランティア活動を必要とする市民との間に立って、両者の想いを実現するための調整を行う「災害時ボランティアセンター」。

このセンターの体験を通じて、災害時のボランティアについての理解を伝えています。

こんな時に声をかけてください

- ・被災地でのボランティア活動について知りたい
- ・「災害時ボランティアセンター」について知りたい

② よこすかボランティアセンターの取り組み

災害時には、予想もしていないことが次々と起こります。「クロスロード」という事例をもとにしたゲームを活用しながら、意見を交わし、さまざまな考え方や価値観の違いを尊重しながら、1つの考え方にまとめていくことの大切さを考えます。

こんな時に声をかけてください

- ・地域の防災研修会で災害時の要援護者やボランティアについて知りたい

*連絡先: 横須賀災害ボランティアネットワーク事務局・よこすかボランティアセンター
いずれも TEL 821-1303 / FAX 824-8110



災害時ボランティアセンターの様子
(平成16年7月新潟豪雨災害)



「クロスロード」ゲームの様子

よこすか福祉の輪市民会議は9グループに分かれて活動を続けています。

よこすか福祉の輪市民会議だより

○井戸端グループ



当日は20人の
お父さんが、
講師を務めた
「手作りおも
ちゃの会」の
方から「ヘリとんぼ」「ぶんぶん」「がりがり」など昔ながら
の手作りおもちゃの作り方を教わりました。真剣なまなざし
で作業をするお父さんたちでしたが、ヘリとんぼの飛ばし方
などの実演のたびに会場いっぱい「おおー」という歓声があがり、いつの間にか少年の顔になっていました。

参加者からは「妻に言われて参加したが来て良かった」「久々に童心にかえり、作品ができた時は感動した。孫に教えるつもり
の講座のはずが、思わず自分が熱中してしまった」など、嬉しい感想をいただきました。

グループでは現在「お父さんの秘密基地」第2弾の開催に向けて、熱心な検討を続けています。

地元の行事に来ないといわれる、団塊世代の男性を対象にしたイベントを企画・実施しながら、“参加しやすい場づくりのポイント”を考えています。7月18日(土)には総合福祉会館でグループ初の自主企画「お父さんの秘密基地～孫と一緒に作りたい手作りおもちゃ」を実施しました。

今回は定員を上回る応募があり、なかには現役世代の方も見られました。

<「お父さんの秘密基地」第2弾 開催のお知らせ>

○テーマ：「奥さんを笑顔にする 魚のさばき方講座」

○日時：12月12日(土) 9時50分～13時30分

○会場：総合福祉会館6階
本町コミュニティセンター調理実習室
(京急汐入駅から徒歩6分)

○対象：市内在住の55歳以上の男性の方

○定員：20人(応募多数の場合、抽選)

○参加費：500円(食材、道具、保険代ほか)

*参加希望者は、12月3日(木)までに

①講座名(テーマ) ②郵便番号・住所 ③名前(よみがな)

④年齢 ⑤電話番号を電話かFAXで下記へ。

【申込み・問合せ】 横須賀市健康福祉部健康福祉総務課

TEL 822-8269 FAX 822-2411

平成21年度地域福祉特区事業決定!

横須賀市は、地域で助けあう福祉活動のうち、先駆性があり他の地域にも福祉の輪が広がるような事業を「地域福祉特区事業」として認定しています。5回目の今年度は、3件の応募があり選考の結果「太陽の家口腔介護センター」が認定されました。

太陽の家口腔介護センター 「EGAOなび」 -食べる喜びをいつまでも-

健康な生活をおくるためには、いつまでも口から食事をおいしく食べることが大切です。口腔機能の維持を図るため、歯科医師や歯科衛生士が中心となって、口腔(口)のケアやトレーニングを行い、口腔からの介護予防をすすめます。

◇事業内容

●口腔体操・口腔マッサージの実践教室

食べる、飲み込むと行った口腔機能を向上させるため、唾液腺、舌、口腔マッサージや咀嚼(かむ)に関する筋肉や舌の体操を行います。

●口腔衛生からみた健康づくり・介護予防教室

口の機能の衰えがおよぼす健康への影響、それを防ぐ口腔に関する正しい知識の普及のための講習会を開催します。

※年齢など対象者に条件はありません。利用料金は無料

【講習に関する問合せ】 太陽の家口腔介護センター(桜が丘) TEL 833-8047

横須賀に、新しいタイプの 生活のためのリハビリセンターができました。



『田浦障害者地域リハビリセンター 自立訓練(機能訓練)事業』

自立訓練とは?

身体機能や社会性活力の向上を目的としている身体障害を対象にした“通所、のリハビリサービスです。(障害者自立支援法によるサービスです)

＜リハビリ例＞

- ・社会参加・復職就労準備
- ・調理・家事訓練
- ・外出訓練
- ・スポーツリハビリ
- ・機能訓練

＜特 色＞

- ①作業療法士、理学療法士、看護師、ケアワーカーがスタッフです。
- ②プログラム選択式の訓練です。ひとりひとりのニーズに合ったプログラムを複数選択することができます。
- ③看護師が健康管理・指導を行っています。
- ④訓練は、5～6人の少人数グループで実施します。



- ・自立訓練(機能訓練)の利用には「身体障害者手帳」が必要で。
- ・午前、午後それぞれ2時間のプログラムです。同日のプログラムは併用できません。
- ・自立訓練(機能訓練)事業は、支給開始より1年～1年半の有効期限のサービスです。
- ・利用料は、法定自立訓練サービス利用料の1割です。

【申込み・問合せ】「お気軽にお問合せください」

社会福祉法人横須賀基督教社会館 田浦障害者地域リハビリセンター
横須賀市田浦町2-80-1 TEL 861-9766/FAX 861-9767
ホームページアドレス：<http://www.yokosuka-ccc.jp/>

横須賀市社協の福祉活動を応援してください!

賛助会員募集中

☆加入方法☆

お名前とご住所を、電話・はがき・FAX・Eメール等でお伝えください。三浦藤沢信用金庫と湘南信用金庫の振込用紙(両信用金庫のご協力により振込手数料が無料になります)を送付させていただきます。

個人会員 1□ 1,000円 団体会員 1□ 5,000円

*会費は年会費となっており、口数は何口でも結構です

〒238-0041本町2-1 総合福祉会館2階
横須賀市社会福祉協議会 総務課
TEL 821-1301/FAX 827-0264
Eメール shakyo@wg7.so-net.ne.jp

ありがとうございます。

横須賀市社協では、賛助会員を随時募集しています。

賛助会員は、市社協が地域福祉を進めていくための取り組みに対して、ご賛同いただける方々に会員としてご加入いただき、その会費を事業に活用させていただくことで、ご支援をいただくものです。

毎年度、賛助会員のみなさまのおかげで、充実した広報活動やボランティア関連事業を展開しています。みなさまのご支援をお待ちしています!

☆賛助会員のみなさまのご支援で次の事業を実施しています☆

社協だよりの発行(年4回)、ホームページの開設
ふれあいキャンプ、ボランティア体験、場づくりサロンの開催
ハンディキャブ等による送迎活動事業(福祉有償運送事業)

全クラス 試してナットク!



一日無料体験開催中!!

イトマンの楽しい授業を一度体験してみませんか?



電話予約制 お気軽にどうぞ

秋の入会キャンペーン

特典 1 入会金5,250円

特典 2 幼児・ジュニアクラス 指定用品一式プレゼント!

0円

100%OFF



ベビークラス ヘルパー+スイミングキャッププレゼント!

大人クラス ゴーグル+スイミングキャッププレゼント!

イトマンスイミングスクール横須賀校

横須賀市日の出町3-11
<http://www.e-itoman.co.jp/>

☎046-823-6170

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根
共同募金

10月1日▶12月31日

横須賀の共同募金って？

赤い羽根と
年末たすけあい
一本化!



2つの募金を1回で

横須賀では、10月の赤い羽根募金と12月の年末たすけあい募金をあわせ、共同募金として、10月に1回で行っています。ご寄付いただいた募金は6(赤い羽根)：4(年末たすけあい)にわけられ、それぞれの募金の趣旨にそって配分されます。

じぶんの町でいきる募金

ご寄付いただいた募金は全て、わたしたちの住んでいる横須賀の福祉のために活用されます。市内の福祉施設・団体のために、また住民のみなさんと共にすすめる地域福祉活動(サロン等)により、身近な町を良くするため活用されています。



横須賀の福祉のために

★団体(16団体)
横須賀グリーンヒル、ボランティアグループなつめ、安田不動産(株)、横須賀営業所、日洋物産(株)、横須賀個人タクシィ協同組合、神奈川県美容生活衛生同業組合横須賀中央支部、(有)山仙商店、竹内自動車工業(株)、西田装美(株)、松月製菓(有)、(株)陽報、横須賀英語愛好会、(株)イノウエ、神奈川県看護協会横須賀支部、百万建築材料(株)、(株)エイワイ

★個人(89名)
富田恵美子、和田完一、阿部信行、金丸とめる、山下由美子、原田京子、飯田洋介、堀合幸子、手塚武夫、山崎晴海、瀧野英子、上田滋、上田順子、田中正江、八重、藤間信明、石田妙子、小池俊雄、明石稔、齋藤稔、渡辺繁子、田中清、井出美佐子、長瀬成江、山口浩、中輝ナツ、種本裕子、渡辺俊雄、田嶋敬彦、北川しん、飯島輝子、遠藤秋男、田中靖子、小泉浩康、小泉真理子、山中静代、藤掛一子、徳永淑子、田中肇子、永山良文、平田初枝、小野久美江、幡野克二、洲上勝啓、洲上隆子、佐々木三子子、外岡幸吉、長嶋利夫、小林勇三、早苗、斉藤昭枝、氏原信子、山崎公恵、福島梅子、高橋和代、山岸幸子、阿部玲子、後藤理三、富錦子、村越志津子、一万井幸子、本間嘉弘、大坪輝子、栗原正而、栗原成子、赤坂誠司、神崎瑞枝、大森泰子、富田好昭、田健次郎、笹原鶴夫、朽木敏子、大原佳夫、大原真吾、片山綾子、井上豊美、関村泰夫、三浦和子、土肥楡矩子、西村忠、西村夕子、井上祐一、吉原玲子、浅葉宗利、小林好明、大久保貞子、倉科睦子、中村みち金子三子

★個人(10名)
加藤武一、加藤晴代、古屋修身、菅宮建吉、阿部誠、山本英夫、柳井芳明、赤澤均、森田兼行、志水勝
平成21年6月1日～8月31日
〈順不同・敬称略〉

平成21年4月に加入いただいた一部のの方が、前号(7月号)に掲載していませんでした。改めて今号にて掲載させていただきますとともに、深くお詫び申し上げます。



賛助会員の紹介

住宅ローン・消費者ローン等のご相談・お申込は
湘南しんきん各ローンセンターへ

ローンセンターは休日も営業しております。

■本店ローンセンター 0120-413-357 ■上大岡ローンセンター 0120-470-417

SHONAN 湘南信用金庫 ホームページアドレス http://www.shinkin.co.jp/shonan

秋の催し盛りだくさん! さあ行ってみよう~!

第21回横須賀三浦地区 ふれあい広場

社会福祉施設等の模擬店や作業所等の作品販売、パソコン写真、ゲームコーナー等の各種アトラクション、ステージイベントなどを楽しみながら障害のある方と来場される方との交流を目的としたイベントです。

日時：11月14日(土) 10時~14時

場所：総合福祉会館5~7階
(京急汐入駅下車徒歩6分)

※駐車場には限りがありますので、車での来場はご遠慮ください。

問合せ：ふれあい広場実行委員会事務局
(県立三浦しらとり園 担当：久田)

TEL 848-6346 FAX 848-5258

♪ボランティア同時募集♪ 9時~16時

内容：会場案内、設営、コーナー補助など

問合せ：よこすかボランティアセンター(7頁右上参照)

第34回横須賀三浦地区障害児者 文化事業ふれあい作品展

日時：11月17日(火)~20日(金)
10時~20時(20日は19時まで)

場所内容：①ショッパーズプラザ2階
センターモール
(京急汐入駅下車徒歩3分)
作業所、施設などで制作した作品等の販売
②総合福祉会館6階
本町コミュニティセンター
(京急汐入駅下車徒歩6分)
学校の生徒による作品等の展示

問合せ：ふれあい作品展実行委員会事務局
(福祉援護センターかがみ田苑)

担当：雑賀、小俣、荒木

TEL 849-5340

FAX 849-5643

武山地区社会福祉協議会 福祉バザール

武山地区の福祉・教育団体等によるバザール(物品販売、模擬店、イベント)

日時：10月11日(日)
11時~13時30分

場所：JAよこすか葉山
武山出荷場
(京急バス停武山住宅
または一騎塚下車)

問合せ：武山地区社会福祉協議会・

武山地区ボランティアセンター

TEL/FAX 856-2943

県立保健福祉大学祭・うみかぜ祭

11月1日(日)・2日(月) 10時~16時

県立保健福祉大学(京急県立大学駅下車徒歩5分)

大学の特色である「地域密着」を活かし、市民が気軽に参加できる催しがたくさん行われます。

●世界糖尿病デー in 神奈川県立保健福祉大学

1日 10時~14時30分

○中村丁次学部長講演「糖尿病予防の柱は食生活」(10時~11時)

○糖尿病予防に関する運動療法や足の手入れについての展示・体験プログラム

①足の手入れ(11時) ②運動療法(11時) ③足の手入れ(13時30分) ④運動療法(13時30分)(複数受講可)

※参加費無料、体験プログラムは10月16日(金)までに氏名、電話番号、希望する体験プログラムの番号をFAXで事前申込みが必要(残席があれば当日参加可)

【申込み・問合せ】看護学科(担当：奥井)

TEL 828-2820/FAX 828-2821

●特別公開講座「おやじの食育(こそだて)」

第一部では、阿部志郎名誉学長が基調講演を行います。第二部では、横須賀・三浦のお父さん代表5人が、家族の絆や子どもの成長と「食」の関係について、父親の目線で語り合います。

1日 13時30分~ 講堂 ※参加費無料、事前申込み不要

【問合せ】企画課 TEL 828-2530/FAX 828-2501

Eメール info@kuhs.ac.jp

~子育て支援講座~「里親制度を知ろう」

「里親」とは、親の離婚や病気などさまざまな事情で、家族と一緒に生活することができない子どもたちを、あたたかい家庭で愛情とまごころを込めて養育をする一般家庭の皆さんのことをいいます。

この講座は、未来を担う子どもたちがすくすくと成長していけるように支援する「里親制度」について学ぶものです。

1回	10月24日(土) 10時~12時	・「里親制度」紹介 ・ビデオによる里親活動の紹介、 質疑応答	ヴェルクよこすか 6階 第1会議室
2回	10月31日(土) 10時~12時	・児童養護施設を知ろう ・施設見学	春光学園
3回	11月7日(土) 10時~12時	・里親になって感じること ~里親体験談~ ・講座を振り返ってみましょう ~グループディスカッション~	ヴェルクよこすか 6階 第1会議室

対象：市内在住、原則として全ての回に参加できる方

参加費：無料

主催：横須賀市里親会・家庭養育支援センター(春光学園)、横須賀市児童相談所

申し込みは、電話、ファックス、Eメール

(cgcp-cfr@city.yokosuka.kanagawa.jp)で横須賀市児童相談所へ。

【横須賀市児童相談所：TEL 820-2323/FAX 826-4301】

企画・デザイン・写真撮影から印刷まで

企画からデザイン、写真撮影、印刷、製本までの一貫した対応により、スピーディーかつローコスト化を実現します。高品質な仕上がりでお客様の要望にお応えします。



企画・デザイン・印刷・製本
株式会社 **アド・ワークス**

・チラシ広告 ・ポスター ・パンフレット ・冊子 ・記念誌
・名刺 ・伝票 ・カレンダー ・封筒 ・のぼり旗・幕 ・シール
・POP各種 ・販促物取付器具 ・写真撮影 ・ラミネートフィルム
・名入れグッズ各種 ・その他印刷物全般

〒239-0807 神奈川県横須賀市根岸町4-9-13
TEL.046-833-1010(代) FAX.046-833-0622
e-mail:eigyoun@e-adworks.com



ボランティアコーナー

よこすかボランティアセンター

開所 月曜日～土曜日 9時～17時(日曜日と祝日は休み)

場所 〒238-0041 横須賀市本町2-1

汐入駅から徒歩6分「ショッピングプラザ横須賀」の右となり、市立総合福祉会館の4階です。

電話 (821)1303 (825)0017/FAX(824)8110

E-mail shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/>

ボランティア大募集

①募集団体・横須賀市肢体不自由児者運動会実行委員会

内容: 会場設営、片付け、競技補助など

日時: 10月4日(日) 9時30分～15時30分

場所: 県立保健福祉大学体育館

☆体を動かす機会の少ない肢体不自由の方々がボランティアとともに楽しく過ごしてもらうための運動会です。

②募集団体・ふれあい運動会実行委員会

内容: 会場設営、片付け、競技補助など

日時: 10月11日(日) 8時30分～16時30分

場所: 諏訪小学校

☆ふれあい運動会は毎年行っている知的な障害のある方の運動会です。

③募集団体・健康づくり課

内容: 骨髄バンクドナー登録会のお手伝い(ティッシュ配り)

日時: 10月18日(日) 11時～12時、13時～16時

場所: 横須賀中央駅周辺

☆毎年行っている骨髄バンクドナーの登録会の啓発としてティッシュ配りをします。集合場所は児童図書館2階読書室。

④募集団体・メロディー

内容: 外出介助③はお楽しみ会のお手伝い

日時: ①10月25日(日) 9時15分～16時

②11月22日(日) 9時45分～16時

③12月27日(日) 9時45分～14時

場所: ①ソレイユの丘

②みかん狩り(津久井浜)

③総合福祉会館

☆ダウン症のお子さんたちのグループです。

⑤募集団体・こども健康課

内容: 研修会、双子の会全体会時の際の保育ボランティア

日時: 12月12日(土)、19日(土) 9時～12時

場所: ウェルシティ2階市民ホールほか

☆予定のため、詳細はよこすかボランティアセンターまで。

◎ボランティアニュース編集委員大募集

よこすかボランティアセンターでは、年4回ボランティアニュースを発行しています。文章を書くのが好き、パソコンが得意、人と話すのが好き、今までの経験を生かしたいという方、編集委員として活動してみませんか。

編集会議は月に1回程度、見学大歓迎です!!



布おもちゃ親子サロン“ポケット”

毎月第2金曜日に開催している布おもちゃ親子サロンは、新型インフルエンザ感染拡大を防止するため、10月から来年3月まで予定していたサロンをすべて休止します。

☆ご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。



いろいろな悩みを抱える人たちのことを知る講座

県立保健福祉大学の吉田法子先生による講演とパネルディスカッション形式の講座。精神障害の方や家族の方々をとりまく現状や課題について知り、当事者や家族、地域作業所・グループホーム・医療機関・行政関係者などの人たちと講座参加者が一緒になって一人ひとりに何ができるかを考えます。

日時: 11月20日(金) 13時～16時

場所: 総合福祉会館 視聴覚研修室

対象: 市内在住・在勤・在学の人

定員: 先着20名程度

申込み: 11月10日(火) までに電話、

ファクス、Eメールのいずれかで、①講座名、②住所、③氏名(フリガナ)、④年齢、⑤電話番号をお知らせください。

問合せ: 地域福祉課 TEL 821-1301/FAX 827-0264

E-Mail: matuo.yokosuka-shakyo-n85@sis-net.jp



<土・日曜日>も開いています。

くらしの相談 相談は無料

お客様相談室

ご相談内容: 相続・年金・資産運用・税金・その他よろず相談をお受けしております。

お取り次ぎどころ

お取引店へ各種書類をお取り次ぎいたします。

横須賀中央駅前出張所 2階

フリーダイヤル ☎ 0120-046801

営業時間 午前10:00～午後7:00

お休み 12月31日から1月3日まで、および平日が休日の場合はお休みとさせていただきます。



TRiBank Miura Fujisawa 三浦藤沢信用金庫

お気軽にご相談下さい

秘密厳守

※場所はいずれも市立総合福祉会館2階です。
相談日が祝日に当たるときはお休みとさせていただきます。12時〜13時はお昼休みとさせていただきます。

生活福祉資金貸付相談

地域における自立生活を支援するため、生活福祉資金貸付相談を受け付けています。

【相談にあたっては】

- ① 使用目的別に資金貸付があります。
- ② 地区担当民生委員による相談援助活動が行われます。
- ③ 借受人世帯の自立を支援できる連帯保証人が必要です。

介護相談

福祉機器や介護について介護福祉士がお答えします。

● 毎週月曜日〜金曜日
10時〜16時 福祉機器展示場
電話相談 TEL(824)9436

住宅改造相談

ちょっとした工夫や改造をすることで、暮らしやすい家になることができます。

障害者や高齢者のより住みやすい環境をつくるために、神奈川県建築士事務所協会横須賀支部の建築士をはじめ、介護福祉士が相談に応じます。

● 毎月第4水曜日
10時〜15時
予約はTEL(821)1301

横須賀地域に神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例に関する相談窓口が開設されました

「神奈川県公共的施設における受動喫煙防止条例」が平成22年4月1日から施行されることにより、事業者の方には受動喫煙防止のための措置などが義務づけられます。

横須賀地域の事業者の方の利便性を図るため、神奈川県横須賀合同庁舎内に相談窓口が開設されましたので、お気軽にお問い合わせください。

- 【場所】 神奈川県横須賀合同庁舎2階(日の出町2-9-19)
 - 【電話番号】 823-0210 内線298・299
 - 【開設期間】 平成21年9月1日〜平成22年3月31日の毎週水曜日(年末年始・祝日を除く) 10時〜15時
 - 【業務内容】 制度、分煙の方法等の相談
融資・利子補給制度、適用除外認定制度の相談及び申請受付他
- ※鎌倉保健福祉事務所でも平日(8時30分〜17時15分)の間、相談及び申請受付を行っています。
- 【問合せ】 鎌倉保健福祉事務所 企画調整課
鎌倉市由比ガ浜2-16-13 TEL 0467-24-3900

あとがき

「24時間、365日保健福祉の身近な相談の場です。」こともからお年寄り、心身の障害等の保健福祉のあらゆる相談の窓口を一体化し、たらい回しはしない、そして一人ひとり最適な保健福祉サービスを迅速に提供する保健福祉サービスの拠点施設が人口5万7千人余の長野県茅野市にある。

保健福祉サービスセンターは4つの地域に設置され、更により高度で専門的な対応の基幹保健福祉サービスセンターが市役所にある。センターは保健師、社会福祉士、介護支援専門員のほか諏訪中央病院の医師・看護師、社会福祉協議会の職員がチームを組み住民一人ひとりのトータルケアに取り組む。その仕事は、保健福祉相談を始めとして、診療所、訪問介護、訪問看護、デイサービスのほか地域住民の「たま

ありがとう

社会福祉のために、次の方々から温かい寄付がありました。

平成21年6月1日〜8月31日

(敬称略)

- (株) 根岸工務店、三浦藤沢信用金庫、船橋珠枝、バーラー風羅巴、久保寺栄子、中澤徹、和田完一、木彫友の会代表宮本孝子他会員一同、高橋文枝、(株) 根岸工務店賢友会、渡辺芳夫・バカマー、斎藤ミツ子、小関敏子、いきいき麻雀クラブ、三浦半島アーティスト芸能連盟、鶴が丘夏まつり模擬店有志 匿名1件

- 西行政センター、リッチランド、共栄荘、野村敏彰、上町第2地区V C、山崎峰崇、武山地区V C、長瀬ケアセンター、追浜地区V C、渡辺訓宏、川本昌代、今田君子、西あゆみ、横須賀市都市施設公社、大津地区V C、手話サークル逸見、錦古里純子、横浜南共済病院臨床検査科、水谷正昭、本町デイサービス、横須賀シルバー人材センター、柳田和代、横須賀市社協、匿名4件

寄付金 25件 五三二、六一七円
物品 41件

り場機能」として地域交流センターを設け、ホームヘルパー2級のボランティアが活躍している。そして、この保健福祉センターは、その後全国的に展開する包括支援センターのモデルとなった。

この福祉のまちづくりの立案者は、前茅野市長矢崎和広氏である。矢崎氏は早稲田大学卒業後、ソニー商事に入社、主として営業畑に7ヶ年近く勤務し家業を継ぐため茅野市に戻る。平成7年から3期12年茅野市長を務め、市民主導・行政支援の「パートナーシップのまちづくり」の手法を導入。知恵は市民、予算は市長、汗は市民と職員が協働して流す。行政のパートナーとしての市民組織は「実践する提言集団・福祉21茅野」と位置づけ、代表幹事を開業医が務め、無報酬で300回以上、夜の会議を経て「思いの丈を込めたわがまちのあるべき姿」を追及した茅野市

地域福祉計画を市民が主体で策定。

市長はこの計画実現のための拠点づくり、人材の育成に努力。しかし、裏方として並々ならぬ苦勞をされた。最初の抵抗は、市職員の保健師。膝詰めの話し合いで説得。次に市社協会長となり、行政とパートナーシップを組み行政を補完する福祉サービスを提供できる体制づくりを実現。そして2市1村の組合立病院・諏訪中央病院の組合長に就任し、保健福祉医療の総合的サービスシステムの実現。その効果として、1人当たり老人医療費平成17年全国平均819千円余に対して茅野市は、30%減の578千円余の実績。市民が策定した計画を実現すべく、基盤づくりを市長が担った。その原動力は、ソニー商事や企業で培った民間的発想にあるという。先見性、しなやかな発想に劇的な行革をした市長の偉業といつて過言でない。

(へ)